

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

1. サービス情報の提供・案内

利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
1	パンフレット、ホームページ等利用希望者が入手できる媒体で事業所の理念や利用手続き等の最新情報を提供している (メモ: )	1	2	3	
2	利用者の一日の生活状況や事業所の特徴がわかる情報を提供している (メモ: )	1	2	3	
3	利用希望者の特性を考慮し、必要に応じて広報媒体や簡易な表現などを工夫している (メモ: )	1	2	3	
4	事業所を訪れる利用希望者の他、区市町村等利用者のサービス選択に関わる関係者にパンフレット等を配布している (メモ: )	1	2	3	
5	利用希望者がサービス選択のために必要な情報は何かを把握し、それに基づいて情報を提供している (メモ: )	1	2	3	
6	関係機関と連携をとり、潜在的な利用希望者への情報提供を行っている (メモ: )	1	2	3	
7	事業所の広報誌等広報媒体の内容を点検し、改善するしくみを整備している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
利用希望者の問い合わせや見学に対応している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
8	問い合わせ・見学受入の基本的方針や留意事項を明確化している (メモ: )	1	2	3	
9	問い合わせ等があった場合には、常に一定の内容を情報提供できるよう体制を整備している (メモ: )	1	2	3	
10	利用者に影響を与えない範囲で見学希望者の都合(曜日や時間)に対応し、見学を受け入れている (メモ: )	1	2	3	
11	外部からの問い合わせ等について利用者の心身の安全に配慮した対応を行う体制がある (メモ: )	1	2	3	
12	希望する利用者には、サービス開始前に利用体験ができるようにしている (メモ: )	1	2	3	
13	問い合わせや見学者から受けた質問を分析し、それをもとに説明資料を作成している (メモ: )	1	2	3	
14	問い合わせや見学の際の留意点を手引書にまとめ、職員間で共有している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
利用申込者に対する利用決定の仕組みについて透明化を図っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
15	利用決定に際しては、公平性を確保した方法で決定を行っている (メモ: )	1	2	3	
16	受け入れが困難な状況にある申込者に対し、受け入れができない理由を説明し、必要に応じてその人に合った相談先や他機関等を紹介している (メモ: )	1	2	3	
17	利用者や家族等の状況に応じて、受け入れ基準を柔軟に運用する体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

2. サービスの開始・終了時の対応

サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
18	重要事項説明書や契約書等、サービスの提供時間や内容、料金等サービスを利用する上で必要な書式を整えている (メモ: )	1	2	3	
19	重要事項説明書や契約書の内容を、利用者によりわかりやすいように工夫している (メモ: )	1	2	3	
20	サービスに関する重要事項等を説明する際に、利用者や家族等の意向を確認し、記録化している (メモ: )	1	2	3	
21	サービスを開始する時には、サービス内容や料金等について、利用者や家族等の同意を得ている (メモ: )	1	2	3	
22	サービス開始の決定について迷っている人には即答を求めず、利用者が十分検討して決定できるようにしている (メモ: )	1	2	3	
23	利用者にとって必要な項目が盛り込まれているか、誤解しやすい項目がないかなど、重要事項説明書等の点検を行っている (メモ: )	1	2	3	
24	契約の効力や意義について、利用者及び家族が理解できるように説明をしている (メモ: )	1	2	3	
25	利用者の状態により、家族や立会人等の同席を勧め、重要事項等の説明を確実に理解できるようにしきみを整えている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
サービス開始当初の環境変化に適応できるよう支援している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
26	サービス開始時に利用者の支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している (メモ: )	1	2	3	
27	必要に応じて関係する諸機関から利用者に関する情報を集めて活用している (メモ: )	1	2	3	
28	これまでの生活の継続性をふまえた支援をしている (メモ: )	1	2	3	
29	利用開始直後には、新たな生活に適応できるように、利用者の不安やストレスを軽減するよう配慮している (メモ: )	1	2	3	
30	サービス開始前に収集した情報が確実に職員間に共有化されているかどうか検証している (メモ: )	1	2	3	
31	利用者の個別状況に応じて、環境変化による負担を軽減し、事業所のルールや職員等に馴染むことのできるよう体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

利用者がサービス利用を終了する場合も、必要な対応を行っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
32	利用者が他のサービスに移行する場合、新たな事業所の関係者等と連携して支援体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
33	サービス利用終了後も必要に応じて、利用者や家族等からの相談に応じる体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
34	サービスの終了時には、利用者や家族等の不安を軽減するため、生活の継続性に配慮した情報提供やアドバイスを行っている (メモ: )	1	2	3	
35	サービスを終了する場合の要件については、契約書等に明記しており、終了に至る過程を明確にしている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

3. 事業所におけるサービスの質の標準化

提供しているサービスの基本事項や手順等を明文化している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
36	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、提供しているサービスの基本事項や手順等を明文化している (メモ: )	1	2	3	
37	手引書等は、職員の共通理解が得られるような表現にしている (メモ: )	1	2	3	
38	日常のサービスがサービスの基本事項や手順等に添っているかどうかを点検するしくみを整えている (メモ: )	1	2	3	
39	手引書等は使いやすい場所にあり、必要な時にすぐ参照できるようにしている (メモ: )	1	2	3	
40	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している (メモ: )	1	2	3	
41	手引書等に記載している内容や表記方法の妥当性を検証している (メモ: )	1	2	3	
42	他の事業所等で定めているサービスの基本事項や手順等のよい部分を取り入れ、改善に活かしている (メモ: )	1	2	3	
43	職員の手引書等の活用状況を把握している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

提供しているサービスの基本事項や手順等について、見直しをする仕組みを確立している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
44	提供しているサービスの基本事項や手順等は、変更の時期や見直しの基準が定められている (メモ: )	1	2	3	
45	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案が反映されるようなしくみを整えている (メモ: )	1	2	3	
46	提供しているサービスの基本事項や手順等の妥当性を検証するしくみを整えている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

サービスの基本事項や手順等を確保するために、さまざまな取り組みをしている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
47	打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている (メモ: )	1	2	3	
48	職員が一定レベルの支援方策を学べるよう、サービスの場面に沿った基本事項を体得する機会を設定している (メモ: )	1	2	3	
49	職場内外の教育や業務を通じての個別指導等の実施により、職員のレベルアップを図っている (メモ: )	1	2	3	
50	個々の職員の日常のサービスのあり方、援助技術や支援方法について指導者が評価・指導している (メモ: )	1	2	3	
51	職員がわからないことが起こった場合は、気軽に指導者や先輩に尋ねるよう周知する等、相談しやすくしている (メモ: )	1	2	3	
52	事業所全体のサービス提供レベルが一定水準に達しているかどうかを確認し、必要な対応をしている (メモ: )	1	2	3	
53	必要に応じて外部の専門家等を招き、職員の対応について指導や助言を受けている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
職員は、サービス向上を目指し、臨機応変に対応している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
54	事業所が提供しているサービスの一定水準を踏まえた上で、利用者の状況や場面に応じた対応を行っている (メモ: )	1	2	3	
55	各担当者が工夫・改善した良いサービス事例などをもとに、サービスの基本事項や手順等の改善方策やその必要性を、会議や勉強会で確認している (メモ: )	1	2	3	
56	利用者の状況に合わせて、臨機応変な対応ができるよう、組織体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
57	通常想定されない緊急事態や突発的な事態が生じた場合の対応においても、基本となる方針や事項が職員間で共有化されている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

4. 個別状況に応じた計画策定(個別対応の重視)

定められた手順に従ってアセスメントを行い、利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
58	利用者の身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している (メモ: )	1	2	3	
59	個別の利用者のニーズや課題を明示する手続きが決められている (メモ: )	1	2	3	
60	個別の利用者のケース記録等に、具体的なニーズや課題が明記されている (メモ: )	1	2	3	
61	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている (メモ: )	1	2	3	
62	記録の書式にある項目の妥当性や的確性を検証している (メモ: )	1	2	3	
63	記入の仕方や表現の的確性をチェックするシステムが整備されている (メモ: )	1	2	3	
64	利用者の個別要望に応じた支援ができるよう記録内容を常に更新し、活用している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
利用者本人や家族の希望と関係職員の意見を取り入れた個別のサービス計画を作成している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
65	計画は、利用者(必要に応じて家族等)の希望を尊重して作成、見直しをしている (メモ: )	1	2	3	
66	計画は、自立(自律)支援の視点に基づいて作成している (メモ: )	1	2	3	
67	計画は、関係する職員が合議で作成、見直しをしている (メモ: )	1	2	3	
68	計画を緊急に変更する場合のしくみを整備している (メモ: )	1	2	3	
69	計画を利用者にわかりやすく説明し、同意を得るようにしている (メモ: )	1	2	3	
70	計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めた上で、必要に応じて見直しをしている (メモ: )	1	2	3	
71	設定されている目標への取り組み及び達成状況を確認している (メモ: )	1	2	3	
72	必要に応じて外部の専門家等から、計画に関する助言や指導を受けている (メモ: )	1	2	3	
73	計画は事業所内だけでなく、必要に応じて事業所外にある地域の社会資源の利用を視野に入れている (メモ: )	1	2	3	
74	計画は、一人ひとりの利用者の個性や生活リズムなどを尊重したケアを実現できるように作成している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
75	利用者一人ひとりの記録等の書面を整備し、計画の実施状況を記録している (メモ: )	1	2	3	
76	計画に沿った具体的な支援内容と、その結果利用者の状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している (メモ: )	1	2	3	
77	利用者の記録の保管、保存、廃棄に関する規程を定めている (メモ: )	1	2	3	
78	個別の利用者に関する情報が過不足なく記録されているかどうかを検証し、記録様式の見直しなどを行っている (メモ: )	1	2	3	
79	利用者と共に、サービスの実施状況を確認し、記録を作成する取り組みを行っている (メモ: )	1	2	3	
80	記録されている内容を会議等で議論したり、指導的な立場にある職員がチェックするなど妥当性や的確性を検証している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
81	計画の内容や個人の記録について、関係する職員すべてが共有できるようにしている (メモ: )	1	2	3	
82	申し送り・会議等により、利用者への支援に必要な個別情報の内容を確認し、共有化している (メモ: )	1	2	3	
83	申し送りや引継ぎの際に引き継ぐべき事項や留意点などを明確にし、引継ぎ内容を記録している (メモ: )	1	2	3	
84	利用者の個別情報やサービス実施計画の活用状況を検証するしくみがある (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

5. サービスの実施

個別支援計画に基づいて自立(自律)生活が営めるよう支援している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
85	個別支援計画に基づいて支援を行っている (メモ: )	1	2	3	
86	利用者の特性に応じて、利用者とのコミュニケーションのとり方を工夫している (メモ: )	1	2	3	
87	利用者の自立生活に関する希望を把握・尊重し、個別支援計画に反映している (メモ: )	1	2	3	
88	専門職(OT、PT、STなど)による個人別の訓練や専門的支援をプログラム化し、計画的に実施している (メモ: )	1	2	3	
89	上記訓練や専門的支援と連携を持ちながら、日常生活の中でもリハビリテーションに取り組めるよう支援をしている (メモ: )	1	2	3	
90	利用者の能力に合わせて日中活動(作業・訓練種目、活動種目、内容、補助具等)を決めている (メモ: )	1	2	3	
91	自立生活に必要なさまざまな情報(年金、就労、住宅、家事等)を分かりやすい方法で提供している (メモ: )	1	2	3	
92	自立生活実現に向けて、体験学習や地域の社会資源の見学等を行なっている (メモ: )	1	2	3	
93	必要に応じて対人関係のアドバイス等を行っている (メモ: )	1	2	3	
94	日常の金銭管理については、自己管理できるよう支援をしている (メモ: )	1	2	3	
95	契約締結や個人財産の管理が必要な場合は、成年後見制度等の活用を促している (メモ: )	1	2	3	
96	地域での自立生活に向けて、地域の関係機関と連携を取りながら支援している (メモ: )	1	2	3	
97	退所後も必要な支援を行っている (メモ: )	1	2	3	
98	利用者自らが問題解決できるように支援している (メモ: )	1	2	3	
99	地域で生活する元利用者や在宅障害者に対して、相談窓口を設置したり、見守りの体制を作るなどの支援を行なっている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

栄養のバランスを考慮した上でおいしい食事を楽しく食べられるよう工夫をしている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
100	食事は献立や利用者の状況に応じて、適時・適温で提供している (メモ: )	1	2	3	
101	食事時間は利用者の希望にそよう幅をもたせ延長を認めている (メモ: )	1	2	3	
102	献立の内容は季節感を取り入れ、変化に富んだものになっている (メモ: )	1	2	3	
103	利用者が選択できる食事を提供している (メモ: )	1	2	3	
104	残菜調査や利用者の嗜好調査を実施し、献立に反映している (メモ: )	1	2	3	
105	利用者の身体状況等に応じて治療食や咀嚼、嚥下に問題がある場合でも、食べやすい食事を提供している (メモ: )	1	2	3	
106	利用者のペースに合わせた食事介助(見守り・支援を含む)を行っている (メモ: )	1	2	3	
107	食事をする場所は清潔になっており、快適な食事ができるよう環境を整えている (メモ: )	1	2	3	
108	ペースト食等の利用者にも、目で見て楽しめる食事の工夫をしている (メモ: )	1	2	3	
109	咀嚼や嚥下が難しい利用者の食事摂取について、食事の状態や介助方法が妥当かどうか検討している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
入浴・排泄等生活上に必要な支援を行っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
110	入浴時間は利用者の状況や希望に応じるようにしている (メモ: )	1	2	3	
111	入浴介助にあたっては、利用者のペースにあわせた支援を行っている (メモ: )	1	2	3	
112	浴室やトイレは使いやすい状態にしている (メモ: )	1	2	3	
113	身の回りのこと(洗顔、整髪、歯磨き、更衣、掃除、洗濯等)は自分で行なえるよう働きかけたり、必要な介助をしている (メモ: )	1	2	3	
114	通院時の移送サービスを、安全に行っている (メモ: )	1	2	3	
115	個別の排泄記録に基づき、支援方策を検討している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

利用者の健康管理のための取り組みを行なっている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
116	利用者の健康状態を定期的に記録し、把握している (メモ: )	1	2	3	
117	健康状態に関して、利用者の相談に応じ、必要に応じて利用者や家族に説明をしている (メモ: )	1	2	3	
118	利用者が自己服薬管理できるよう助言や支援を行っている (メモ: )	1	2	3	
119	服薬管理は誤りがないようチェック体制の強化などしくみを整えている (メモ: )	1	2	3	
120	利用者に身体的、心理的・精神的ケアが必要な時には医師や看護師など専門家等と協力して行っている (メモ: )	1	2	3	
121	利用者の体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
122	利用者自身が理解しやすい方法で、自己の健康状態を知ることができるような取り組みを行っている (メモ: )	1	2	3	
123	現状では服薬の自己管理が難しい人に対しても、自己管理に向けた支援方を検討している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
利用者の自主性を尊重し、施設での生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
124	日常生活の過ごし方は、利用者の特性や嗜好を考慮し、多様な体験ができるようにしている (メモ: )	1	2	3	
125	共用スペース(活動室・訓練室や食事場所、トイレ等)は、常に清潔な状態にしている (メモ: )	1	2	3	
126	居室内は、採光、換気など居心地のよい環境となるようにしている (メモ: )	1	2	3	
127	外食・娯楽・買い物などは利用者の希望に応じた支援を行なっている (メモ: )	1	2	3	
128	施設での生活に関するきまりごとについて、利用者の理解を得られるように説明している (メモ: )	1	2	3	
129	利用者同士が意見を出し合える場(自治会等)があり、その意見等を施設運営に反映できるようなしくみを整えている (メモ: )	1	2	3	
130	行事やイベントの企画・準備は利用者も参加して行なっている (メモ: )	1	2	3	
131	利用者が遠方への外出を希望する場合には、関係機関への連絡調整等の支援を行っている (メモ: )	1	2	3	
132	重度の障害を持つ利用者の希望を引き出す支援を行っている (メモ: )	1	2	3	
133	施設での基本ルール(禁止事項含む)は利用者・家族などの意見を参考にするなどしながら、必要な見直しを行なっている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

施設と家族等との連携を図っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
134	家族等との交流・連携に際して、利用者本人の意思を確認し、その意向に基づいた対応をしている (メモ: )	1	2	3	
135	家族等の訪問や家族との外泊等は希望に応じる体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
136	利用者の日常の様子や施設の現況を家族等へ知らせる手段を整えている (メモ: )	1	2	3	
137	家族からの相談に対応する体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
138	必要に応じて、利用者と家族の関係調整を行う体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

6. プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

利用者のプライバシーの保護を徹底している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
139	事業所は利用者の個人情報等を、厳密に守らなければならないことを、利用者(必要に応じて家族等)に周知している (メモ: )	1	2	3	
140	職員に個人情報に関する守秘義務を徹底している (メモ: )	1	2	3	
141	個人情報に関する守秘義務の規程整備等、組織として具体的に取り組んでいる (メモ: )	1	2	3	
142	利用者等から開示請求があった場合の対応など、個人情報に関する開示の規程を定めている (メモ: )	1	2	3	
143	記録の管理等について、プライバシー保護と情報開示の観点から、教育・指導を行っている (メモ: )	1	2	3	
144	利用者に関して他機関に照会したり相談したりする際には、利用者の承諾を得るようにしている (メモ: )	1	2	3	
145	外部の研修会等で、利用者の情報を外部に提出する際には、利用者に説明をし、納得を得るようにしている (メモ: )	1	2	3	
146	個人の所有物や郵便物の扱い、居室への職員の出入りに当たっては、利用者のプライバシーに配慮している (メモ: )	1	2	3	
147	利用者の羞恥心に配慮した支援を行っている (メモ: )	1	2	3	
148	プライバシー保護が求められる理由や事業所の基本姿勢を利用者本人や家族にわかりやすく伝えている (メモ: )	1	2	3	
149	広報誌等発行物の作成時には、利用者の記述に関して個人が特定されるなど不適切な記述がないかどうか責任者を決めてチェックしている (メモ: )	1	2	3	
150	郵便は個別の利用者専用のポストを設置している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
151	日常のプログラムや行事の参加については、個人の意思を尊重している (メモ: )	1	2	3	
152	利用者が一人でいたい時には、希望にそうようしている (メモ: )	1	2	3	
153	思想・信条などの自由が確保されており、選挙権については、利用者の意思に基づく支援を行っている (メモ: )	1	2	3	
154	利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、会議等で対策を検討している (メモ: )	1	2	3	
155	虐待被害にあった利用者がある場合には、関係機関と連携しながらケアに努める体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
156	利用者個人の価値観や生活習慣に配慮した支援を行うという基本的考え方を共有化している (メモ: )	1	2	3	
157	一定のルールの下で、入浴時間や嗜好品の摂取等これまでの生活習慣を尊重した支援を行っている (メモ: )	1	2	3	
158	利用者の呼称などにおいても、個人の尊厳を尊重して対応している (メモ: )	1	2	3	
159	利用者の基本的な権利について、日常生活の中でわかりやすく説明をしている (メモ: )	1	2	3	
160	虐待が疑われる場合には、事業所内や関係機関等に相談できるしくみを整えている (メモ: )	1	2	3	
161	拘束を行わないための研究を行い、成果をあげている (メモ: )	1	2	3	
162	利用者が、自らがかけがえのない存在であることを学び、自己肯定感を高めることができるような取り組みを行っている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

7. 安全管理

利用者の安全確保のための体制を整備している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
163	事故(感染症、災害を含む)等が発生した場合に速やかに責任者に報告する体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
164	現場職員が参加する安全管理・事故防止の検討会を開催し、対応策を検討している (メモ: )	1	2	3	
165	安全管理について、リスクの種類別に、責任と役割を明確にした管理体制を整備している (メモ: )	1	2	3	
166	安全管理・事故防止に関する取り組みを、定期的に評価・見直ししている (メモ: )	1	2	3	
167	事故等に対応するための手引書(基準書・手順書・マニュアル)等を整備し、職員に周知徹底している (メモ: )	1	2	3	
168	安全管理・事故防止に関する知識・技術を共有化する取り組みをしている (メモ: )	1	2	3	
169	事故等が発生した場合、所管官庁、保健所、警察等関係機関に速やかに報告する体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
170	関係機関と連携をとり、事故等の拡大防止策を検討し、実施している (メモ: )	1	2	3	
171	手引書等に記載された安全確保方策が、利用者の視点に立ったものか、利用者の自由度のバランス均衡を保ったものかという視点から点検している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
172	発生した事故及び事故につながりそうになった事例を記録し、蓄積している (メモ: )	1	2	3	
173	発生した事故について、発生要因を分析し、再発防止策・事故予防策を検討している (メモ: )	1	2	3	
174	事故につながりそうになった事例について、発生要因、事故にならなかった要因等を分析し、事故予防対策を検討している (メモ: )	1	2	3	
175	事故を防止するために、事業所内で援助技術、職員体制についての検討、見直しを行っている (メモ: )	1	2	3	
176	事業所内の設備(薬・危険物の保管を含む)について、定期点検を行うなど、事故の発生を予防している (メモ: )	1	2	3	
177	利用者に対して、事故(利用者のケガ等医療に関する事故以外に物損含む)についての事業所の対応方法を明確にしている (メモ: )	1	2	3	
178	利用者の行動特性を日常的に記録し、事故予防対策に反映している (メモ: )	1	2	3	
179	経験の浅い職員等には、日常的な業務の中で、利用者の事故予防につながる援助技術を実践的に教える体制を整備している (メモ: )	1	2	3	
180	地域の関係機関との連携のもとに、事故予防策を考慮している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

8. 要望・苦情・トラブルへの適切な対応

利用者が意見を述べやすい環境や相談体制を整備している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
181	利用者や家族の意見や要望を聞き相談に応じる体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
182	意見箱、利用者等の懇談会、アンケート等で事業所側が積極的に意見や要望・苦情を聞いている (メモ: )	1	2	3	
183	利用者が他者に知られたくないことを個別に相談できるようにしている (メモ: )	1	2	3	
184	日常的に接する職員以外に利用者が相談相手や相談方法を選択できることを伝えている (メモ: )	1	2	3	
185	利用者が参加する新しい活動やプログラムを始める際は、必ず利用者の意向を反映できるようなしくみを整えている (メモ: )	1	2	3	
186	日常生活の中に、常に利用者本人が選択したり、意思を表明できる機会を設ける工夫をしている (メモ: )	1	2	3	
187	関係機関や専門家と連携し、相談体制を整えている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
188	第三者委員の設置など、意見や要望・苦情の窓口や苦情対応体制について、わかりやすく利用者や家族に説明し、利用を促している (メモ: )	1	2	3	
189	苦情解決の責任者は全ての苦情とその対応結果を把握している (メモ: )	1	2	3	
190	要望・苦情申し出から検討経緯、申し出人等への報告、改善までの内容を記録している (メモ: )	1	2	3	
191	要望・苦情に対する検討内容や対応策を、苦情を申し出た利用者や家族等にフィードバックしている (メモ: )	1	2	3	
192	苦情を申し出た利用者や家族等に配慮した上で、苦情内容及び解決結果等を公表している (メモ: )	1	2	3	
193	意見・提案を受けたときの記録の方法や報告の手順、対応策の検討、公表のルール等を規定した手引書を整備している (メモ: )	1	2	3	
194	コミュニケーション能力や判断能力の充分でない人々等が苦情・要望等を表明しやすいよう職員間で検討し、成果をあげている (メモ: )	1	2	3	
195	外部の専門家等に相談し、苦情解決の仕組みに関する改善提案を受け、さらなる改善をしている (メモ: )	1	2	3	
196	利用者からの苦情が発生したときの対処方法を検討・蓄積し、予防・再発防止に活用している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

利用者からの意見等に対して組織的に迅速な対応をしている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
197	要望や苦情が出されたら方針を定め、速やかに初期対応をしている (メモ: )	1	2	3	
198	要望や苦情の中で、組織的な対応が必要なものについては、会議等で方針を検討している (メモ: )	1	2	3	
199	対応に時間がかかる場合には、今後の見通しについて説明している (メモ: )	1	2	3	
200	要望・苦情をサービスの向上に反映している (メモ: )	1	2	3	
201	苦情や要望をきっかけにした改善点を、利用者や家族、地域社会等に積極的に周知している (メモ: )	1	2	3	
202	要望や苦情を出した人だけでなく、当事者以外にも対応の経緯を説明している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

9. 地域との交流・連携

利用者の生活の幅を広げるための取り組みを行っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
203	地域との関わりについての基本的な考え方を明文化している (メモ: )	1	2	3	
204	地域の情報を収集し、利用者の状況に応じて提供している (メモ: )	1	2	3	
205	事業所の活動や行事に地域の人の参加を呼びかける等、利用者が職員以外の人と交流できる機会を確保している (メモ: )	1	2	3	
206	利用者の買い物、通院など日常的に、地域のさまざまな資源を利用する機会を設けている (メモ: )	1	2	3	
207	利用者の活動範囲を広げたり利用者が地域の中で日常の時間を過ごす機会を確保するような取り組みを行っている (メモ: )	1	2	3	
208	利用者が地域との交流によって得た意見や要望を、積極的に地域にフィードバックしている (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

事業所の機能、特性にもとづく知識・技術等の専門性を地域に還元している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がない	
209	集会室等の施設設備や備品等を地域に開放している (メモ: )	1	2	3	
210	地域の人や関連施設を対象に、利用者や施設機能の理解を深めたり支援方法等を伝えるための企画・啓発活動等(地域住民を対象にした情報提供・介護教室等の研修会や講師派遣等)を行っている (メモ: )	1	2	3	
211	地域住民の主体的な参加を得て、研修会等を企画し、実施している (メモ: )	1	2	3	
212	地域住民のニーズに基づき、子育てサークル・介護者の集いなど住民の自主的な活動に対して、支援・協力している (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					

身体障害者更生施設(視覚障害者) アンケート

ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
213	ボランティアや地域住民の福祉体験の受け入れ等に対する基本姿勢を文書化している (メモ: )	1	2	3	
214	ボランティア等の受け入れ体制を整備している(担当者の明確化、手引書の整備) (メモ: )	1	2	3	
215	ボランティア等に、利用者の守秘義務、利用者に関する留意事項等を伝えている (メモ: )	1	2	3	
216	ボランティアに対するオリエンテーション・研修等を行っている (メモ: )	1	2	3	
217	ボランティアから、受け入れや活動の際の方針や事業所の日常の業務の改善点を聴取し、改善に取り組んでいる (メモ: )	1	2	3	
218	ボランティア等の受け入れによって得られた成果を分析し、日常の業務改善に活かす取り組みがある (メモ: )	1	2	3	
その他の項目:					
地域の必要な社会資源を把握し、関係機関との連携を図っている		実施している	実施していない		わかりにくい項目に
			本来実施すべき	実施する必要がある	
219	地域の関係機関・団体について、機能や組織とのつながりを明確にしたリストを作成している (メモ: )	1	2	3	
220	関係機関と定期的な連絡会を行っている (メモ: )	1	2	3	
221	地域の関係機関のネットワーク化に取り組んでいる (メモ: )	1	2	3	
222	ネットワーク内で共通する問題に対して、解決に向けて共同して具体的な取り組みを行っている (メモ: )	1	2	3	
223	関係機関との連携のあり方を日常活動から分析し、改善に取り組んでいる (メモ: )	1	2	3	